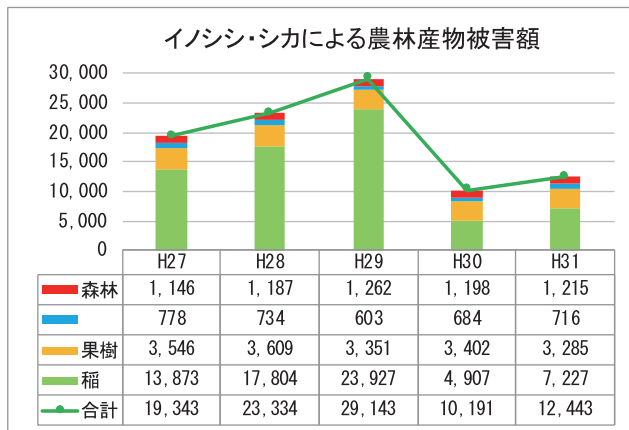




山都町の未来図 ～有害鳥獣から持続可能な資源へ～

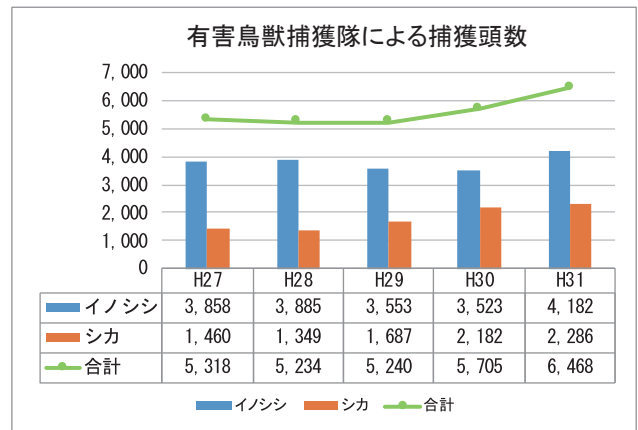
山都町では有害鳥獣による農林産物等の被害が多発しており、イノシシ・シカによる農林産物の被害額は年間 2,000 万円前後で推移しています。ここ 10 年で一番被害が大きかった平成 29 年の被害額は約 2,900 万円に上っています。今回の特集では、被害の状況、被害対策の実例、有害鳥獣捕獲隊の紹介、そして捕獲後の活用事例について紹介します。



イノシシとシカによる各産物の被害額をまとめたグラフです。

突出して被害額が大きい稲作については、一枚の田んぼの中で食べられていない稲穂があったとしても、イノシシやシカの臭いが付着し、その田んぼ一枚全ての収穫が出来ないことがほとんどです。そのため、被害額が大きくなる傾向にあります。

森林の内訳は、植林のための幼木の芽やタケノコが食べられる被害等があります。



有害鳥獣捕獲隊による捕獲頭数は、年々増加傾向にあり、過去 5 年では 5,000 頭を超え、平成 31 年には 6,000 頭を超えました。

山都町では農林産物の被害や有害鳥獣の頭数を減少させるため、有害鳥獣捕獲隊による捕獲活動は 1 年を通して実施しています。

有害鳥獣捕獲隊の皆さんによる活動が農林産物被害の減少につながっています。